

プレスリリース

2017年3月7日

EL17-13

報道関係各位

公益財団法人 日本糖尿病財団

日本イーライリリー株式会社

第6回 リリー・インクレチン基礎研究助成プログラム 選考結果のお知らせ

公益財団法人 日本糖尿病財団(東京都文京区、理事長:岩本安彦 以下、日本糖尿病財団)と日本イーライリリー株式会社(兵庫県神戸市、代表取締役社長:パトリック・ジョンソン 以下、日本イーライリリー)が設立した、インクレチンの基礎研究を助成する「第6回 リリー・インクレチン基礎研究助成プログラム」の選考が日本糖尿病財団によって行なわれ、以下の基礎研究への助成が決定されました。

(五十音順・敬称略)

氏名	所属	研究課題
かわの よしなが 川野 義長	慶應義塾大学 腎臓内分泌代謝内科 助教	腸管免疫調節による腸内細菌制御を介したインクレチン分泌制御機構の解明
じょうお えりな 城尾 恵里奈	京都大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学 特定研究員	脂肪組織に発現する GIP 受容体の新たなシグナル経路の探索と生体に及ぼす影響について
たかがき ゆうた 高垣 雄太	金沢医科大学 糖尿病内分泌内科学 医員	悪性腫瘍の発生・転移において DPP-4 が演じる分子機構の解明
たにだ まもる 谷田 守	金沢医科大学 生理学Ⅱ講座 准教授	GLP-1 シグナルによる自律神経調節作用における視床下部-延髄経路の解析
ひさどめ かずなり 久留 和成	北海道大学大学院歯学研究科 口腔生理学 助教	GLP-1が中枢神経系へ及ぼす作用の全容解明-血中濃度依存性と脳腸相関に関わる神経活動の変調-
ひめの たつひと 姫野 龍仁	愛知医科大学医学部内科学講座 糖尿病内科 助教	糖尿病性多発神経障害における慢性炎症の病態解明とインクレチン関連薬による新規治療法の開発

やまぐち すぐる 山口 賢	日本大学医学部内科学系 糖尿病代謝内科学分野 助教	インクレチンによるインスリン分泌増幅および小 胞体ストレス応答増強メカニズムの解明
やまもと えいいちろう 山本 英一郎	熊本大学大学院生命科学研究部 循環器内科学 助教	左室収縮保持性心不全(Heart failure with preserved ejection fraction; HFpEF)に対する DPP-4 阻害薬の酸化ストレス抑制を介した効果 についての基礎的検討
よしだ まさし 吉田 昌史	自治医科大学医学部 総合医学第 1 講座 講師	インクレチン/cAMP/Trpm2 経路を介した糖尿病 病態悪化機序解明に関する研究

リリー・インクレチン基礎研究助成プログラムは、糖尿病治療薬として近年期待が高まっているインクレチンの機序や病態解明に関わる革新的な基礎研究を推進することを目的に、日本糖尿病財団と日本イーライリリーにより 2011 年に設立されました。

本プログラムへの応募資格者は、日本人で、日本国内で基礎的研究を行う研究者とし、臨床研究は本研究助成プログラムの対象外となります。第 6 回の応募期間は、2016 年 11 月 15 日から 2017 年 1 月 10 日までで、選考は日本糖尿病財団選考委員会により実施され、理事会によって最終決定されました(なお、日本イーライリリーは、選考について一切関与していません)。助成期間は 2017 年 4 月より 1 年間で、研究課題 1 件につき 100 万円以内を助成します。

日本糖尿病財団と日本イーライリリーは、本プログラムを通じて、インクレチンの基礎研究を支援し、糖尿病領域の病態解明、治療環境の向上に貢献していきたいと考えております。

この結果は、日本糖尿病財団のホームページでも発表されています。

<http://www.j-df.or.jp/grant.html>

以上

公益財団法人 日本糖尿病財団について

日本糖尿病財団は、平成3年9月に設立された厚生労働省認可の財団法人です。その後、公益法人改革に伴い、行政庁(内閣府)より公益財団法人の認可を得、平成25年4月1日に公益財団法人に移行しました。糖尿病に関する調査研究の実施及び助成、並びに糖尿病に関する正しい知識の普及・啓発活動の実施及び助成、糖尿病に関する国際交流活動の実施及び助成、糖尿病に関する印刷物の刊行など、さまざまな事業を行い、もって国民の健康の増進に寄与することを目的としています。詳細はホームページをご覧ください。<http://www.j-df.or.jp/>

日本イーライリリー株式会社について

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの子会社で、人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じて日本の医療に貢献しています。統合失調症、うつ、双極性障害、注意欠如・多動症(AD/HD)、疼痛、がん(非小細胞肺癌、膵がん、胆道がん、悪性胸膜中皮腫、尿路上皮がん、乳がん、卵巣がん、悪性リンパ腫、胃がん、結腸・直腸がん)、糖尿病、成長障害、骨粗鬆症、乾癬などの治療薬を提供しています。また、アルツハイマー型認知症、関節リウマチなどの診断薬・治療薬の開発を行っています。詳細はウェブサイトをご覧ください。<http://www.lilly.co.jp>